

下水道だより

未来に引き継ぐ下水道 vol.14

令和4年5月16日発行
上下水道管理課

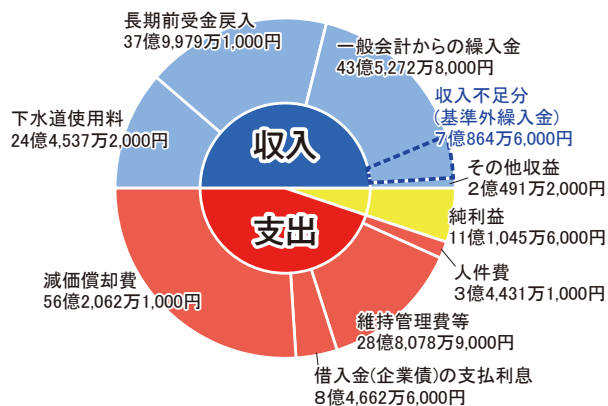
☎237-5811 FAX 237-5819

市民の皆さんに津市の下水道事業をもっと知っていただくため、課題や経営状況についてシリーズでお伝えしています。

今回は、下水道事業会計の令和4年度予算について、主な工事内容を中心に見ていきます。

令和4年度予算を見てみよう！

収益的収支

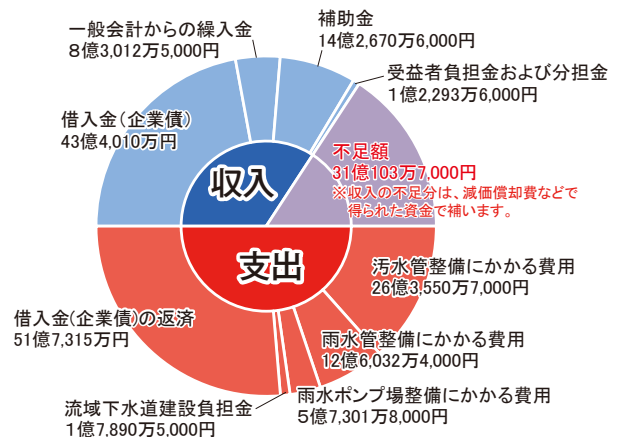


収益的収入	108億 280万3,000円
収益的支出	96億9,234万7,000円
純利益	11億1,045万6,000円
※税込み	

収益的収支…その年度の下水道事業の提供に必要な費用と収入

- 主な収入…下水道使用料、一般会計からの繰入金
- 主な支出…下水道施設の維持管理費用、借入金の利息

資本的収支



資本的収入	67億1,986万7,000円
資本的支出	98億2,090万4,000円
不足額	31億 103万7,000円
※税込み	

資本的収支…将来にわたり下水道を維持するために必要な施設の整備や拡充などに係る費用と収入

- 主な収入…事業に対する企業債、補助金、一般会計からの繰入金
- 主な支出…施設の整備や老朽施設の更新費用、借入金の返済



令和4年度の公共下水道事業の予算が確定したから紹介するね。



令和4年度も一般会計からの基準外繰入金が約7億円もあるんだね。

基準外繰入金ってなに？

本来、下水道使用料で賄うべき額(①)と、下水道使用料(②)の差額で、市の税金で補っている額(③)です。

下水道使用料で賄うべき額 約31億円…①	市の税金で賄うべき額 約36億円
下水道使用料 約24億円…②	実際に市の税金で賄われている額 約43億円
	← 収入不足分(基準外繰入金) 約7億円…③



令和元年10月に下水道使用料が改定されたけど、汚水処理費など本来下水道使用料で賄うべき額が不足しているということなんだ。



企業会計は独立採算が原則だから、基準外繰入金をもっと減らさないといけないね。

ところで、将来にわたり下水道を維持するために、必要な施設の整備や拡充などに係る費用に約98.2億円計上されているけど、どんなことをしてもらえるの？



次のページで、どんな事業が行われるか詳しく見てみよう。